

京都府丹後地域等における地域公共交通活性化・再生総合事業 (「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議」のうち北近畿タンゴ鉄道関係分)

事業期間
20～22年度

利用者の視点に立って、鉄道やバス等の「ダイヤ」、「運賃」、「駅・停留所」、「車両」、「情報提供」、といった交通システムの基礎的な部分を改善することにより、全ての人にとって「分かりやすく」、「使いやすい」、面的な公共交通ネットワークを実現することを目的とする。

分かりやすく、使いやすい 公共交通ネットワーク実現会議の構成

福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、豊岡市、京都府、北近畿タンゴ鉄道、バス・タクシー事業者、旅行会社、京都府警、道路管理者、有識者、商工・観光関係、住民代表、国(京都運輸支局、オブザーバー)、JR西日本(福知山支社、オブザーバー)

事業の概要(20年度)

※数字は事業費

①魅力ある車両創造事業

ラッピング車両、サイクルトレイン等



KTR開業20周年記念ラッピング、他
4,940 千円



サイクルトレインへの車両改造
5,274 千円

③駅活性化事業 179 千円

駅周辺で住民と花の植栽運動、清掃活動



丹後神野駅、
木津温泉駅
ほか多数

②企画列車運行

京丹後市民号、キャクター列車 742 千円



④パークアンドレール事業

市営駐車場利用券、レンタサイクル 905千円



⑥情報提供、利用啓発

外国人向けHP、総合交通マップ・ダイヤ接続表、サポーターズミーティング、マナー向上・利用促進チラシほか多数
10,881 千円



⑤イベント連携事業

記念グッズ、横断幕



2,296 千円

⑦その他(自動車事業)

乗り継ぎ改善
バリアフリー車両購入
実証運行
バス車両絵画展等
25,827千円



20年度 導入 への プロセス

府民だより、京都府広報番組、府庁1階でのチラシ配架、新聞・雑誌・TV、駅・車内、商店街、学校等でのポスター掲示、旅行雑誌、旅行会社等に向けたKTRの情報紹介・PR、豊富な観光資源を最大限に活用

参画者の実現過程イメージを容易にするため、交通システム改善課題を「**ダイヤ**」「**運賃**」「**駅・停留所**」「**車両**」「**情報提供**」の基本要素に仕分け、更に着手時期を短期、中長期、将来と着手時期を分類するなど工夫。

実現会議全体の取組の他、KTR自身、沿線市町とKTRが連携した取組を複合的に実施(団体・通学定期券購入補助、トイレ改修、市営駐車場割引、毎月1日をKTRに乗る日に制定、等)

初年度 の 効果

ラッピング/企画列車で地域からのメッセージを発信し、地域をより良く、広く知って貰うことに効果を発揮。イベント事業や記念品配布等との複合効果で低年齢層と保護者も多数参加。継続効果の為にシリーズ化や、会員向け優遇も検討していく。

マイレール意識の高揚

駅・沿線の植栽、清掃に小中学生、自治会等地元住民100人以上が参加し、地元のマイレール意識の高揚に効果大。維持管理が重要であり、他駅にも展開を検討していく。

観光利用の促進

H20年度の丹後地域への観光入込客は前年度比で96%の558万人。地域住民向けに鉄道・バス等の総合時刻表を56千部配付するとともに、駅などに接続表ポスターを掲示するなどし、乗継に迷った等の指摘を改善に繋げていく。

外国人観光客は京丹後地区で約1,400人で、前年比245%と急激な拡大傾向を見ている。本年度の英語、韓国語対応HPの整備に続き、21年度は中国語、フランス語を追加・充実し更なる外国人観光客へのPRを図る。

利便性の向上と観光利用の促進

P&R(宮津駅利用者140台/月)やレンタサイクル(野田川駅13台)は、利用者が徐々に増えKTR利用促進に確実に繋がっている。更に観光客にも拡大するよう、PRに努めていく。

次年度 以降

観光振興を主軸に緻密なニーズ分析や 利用促進策の展開で更なる利用拡大を図る。

景気後退や新型インフルエンザ、高速道路ETC割引などによる観光、公共交通離れが激しく、地域公共交通の活性化・再生に不可欠なKTRの緻密なニーズ分析や利用促進策の展開が必須。

駅からの交通ネットワークとしてKTRと上限200円バスとの連携(駅到着時間に合わせたバスダイヤへの改定、バス停を駅に近づける、等)をより一層強化していく。

事前の配布物、広報誌、HP等あらゆる手段による周知が功を奏し、企画列車には定員を上回る応募あり。21年度は利用機会を拡大するために運行回数を検討していく。また、利用者増で、サービスへの目も厳しく向けられることとなり、指摘事項を改善(駅員の接客、駅の清掃、バス車内での回数券発売開始、等)することで、更なる利用拡大を図る。

より「使いたくなる事業」に向けて、サポーターズクラブ会員拡大のためのインセンティブなど、より多くの地域住民が利用当事者として考え、行動できるよう取り組んでいく。H21.3.31時点会員数2,417人。